

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	運動学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	301 他
担 当 教 員	高田 秀志	実務経験と その関連資格	理学療法士として回復期病院やデイサービス等で地域医療に従事。福祉住環境コーディネータ2級取得。地域医療政策講座にて医科学修士を取得。			
《授業科目における学習内容》						
運動器(筋、骨)の構造が、生体において、どのように機能しているか理解する。運動によって起こる反応を知る。本科目では、主に筋や靭帯の作用について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験70%、出席5%、小テスト25%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
基礎運動学 第6版						
《授業外における学習方法》						
事前に指定の教科書を読んでおく。事前に配布した「練習問題」の復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
授業中に口頭試問、小テスト等行う。事前配付の資料を忘れない。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	肩関節の各筋の運動作用を述べることができる		テキスト 配付資料	筋の絵を描き、筋の起始・停止を覚える	
	各コマにおける授業予定	肩関節の各筋の運動作用				
第2回	授業を通じての到達目標	肘関節・前腕・手関節の各筋の運動作用を述べることができる		テキスト 配付資料	筋の絵を描き、筋の起始・停止を覚える	
	各コマにおける授業予定	肘関節・前腕・手関節の各筋の運動作用				
第3回	授業を通じての到達目標	股関節の各筋の運動作用を述べることができる		テキスト 配付資料	筋の絵を描き、筋の起始・停止を覚える	
	各コマにおける授業予定	股関節の各筋の運動作用				
第4回	授業を通じての到達目標	膝関節の各筋の運動作用を述べることができる		テキスト 配付資料	筋の絵を描き、筋の起始・停止を覚える	
	各コマにおける授業予定	膝関節の各筋の運動作用				
第5回	授業を通じての到達目標	足関節の各筋の運動作用を述べることができる		テキスト 配付資料	筋の絵を描き、筋の起始・停止を覚える	
	各コマにおける授業予定	足関節の各筋の運動作用				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	体幹前面の各筋の運動作用を述べることができる	テキスト 配付資料	筋の絵を描き、筋の起始・停止を覚える
		各コマにおける授業予定	体幹前面の各筋の運動作用		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	体幹後面の各筋の運動作用を述べることができる	テキスト 配付資料	筋の絵を描き、筋の起始・停止を覚える
		各コマにおける授業予定	体幹後面の各筋の運動作用		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	顔の表情から作用する筋名を答えることができる	テキスト 配付資料	自らの顔で筋名を言われたらその表情にできるようにする
		各コマにおける授業予定	顔面筋の運動・作用		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動によって呼吸器・循環器の変化を説明できる	テキスト 配付資料	形態機能学Ⅰ～Ⅳの授業(呼吸器・循環器)を復習する
		各コマにおける授業予定	運動と呼吸・循環		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動によって中枢神経機構の変化を説明できる	テキスト 配付資料	形態機能学Ⅰ～Ⅳの授業(中枢神経)を復習する
		各コマにおける授業予定	運動と中枢神経機構		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	姿勢や姿勢観察のポイントを理解することができる	テキスト 配付資料	体表解剖学Ⅰの触診の技術を復習する
		各コマにおける授業予定	姿勢について		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	他者の姿勢観察を行い、姿勢の分析を述べることができる	テキスト 配付資料	体表解剖学Ⅰの触診の技術を復習する
		各コマにおける授業予定	グループワークにて姿勢、姿勢観察実践		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	歩行の各相の動きを述べる事ができる	テキスト 配付資料	動作学での歩行の項目を復習する
		各コマにおける授業予定	歩行の各相について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	歩行の各相の動きがなぜおこるのか理解する	テキスト 配付資料	各相からその歩行を模倣できるように復習する
		各コマにおける授業予定	歩行の関節の動き		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	歩行時の重心の位置について述べる事ができる	テキスト 配付資料	歩行の各相で何筋が使用されるか復習する
		各コマにおける授業予定	歩行と重心		